



ふるさとだより

新年のごあいさつ

皆様方には輝かしい新年をお迎えの事と存じます。本年も宜しくお願い申し上げます。

「西会津富士の郷」も7月の富士山の山開き、2月のスノートレッキングと年々充実した事業となり、多くの参加者を得て実施することができました。

さらに、「富士ソフト」や「駒沢女子大生」と交流を深め活力と元気を頂いております。

また、「水仙ロード」や桜の植樹など新たな事業にも取り組みました。

今年度で3年間の県補助金も終わりますが、会員一同力を合わせ更なる前進を図って参ります。

ふるさとだよりも年4回発行し、皆様方との結びつきを深めていきたいと思っておりますのでご意見やご感想などお寄せ頂ければ幸いです。



「富士ソフト水仙ロード」命名除幕式

11月2日(水)、小清水・漆窪間の町道脇に水仙を植えたことを記念して、看板を設置し、「富士ソフト水仙ロード」命名除幕式を執り行いました。式には地元富士の郷会員はもとより、西会津町副町長伊藤要一郎様、富士ソフト株式会社執行役員前川政喜様、にしあいづ観光交流協会会長清水幹久様にご列席いただき、ご祝辞を頂戴しました。



この除幕式については県内の新聞でも報道され、『町道拡張改良を機に富士の郷会員らと、ボランティアを通して交流を続けている横浜市のIT企業・富士ソフトが路肩にスイセンの球根約1,300株を植栽した。スイセンは、春先にいち早く花を付け、雑草にも強く癒し系の花ということで選ばれた』と紹介されました。

福 島 民 友

2016年(平成28年)11月5日(土曜日)

6年にわたって全幅5mに拡張改良された。これを機に富士の郷の会員らと、ボランティアを通して交流を続けている横浜市のIT企業・富士ソフトが路肩にスイセンの球根約1,300株を植栽した。スイセンは、春先にいち早く花を付け、雑草にも強く癒し系の花ということで選ばれたという。



水仙ロード除幕祝つ
西会津町新郷、町道漆窪線の「富士ソフト水仙ロード」命名除幕式が2日、同町道で行われた。
除幕式には漆窪、小清水両自治区から20人が出席。両自治区の地域おこし団体「西会津富士の郷」の長谷沼清吉会長らが、設置された看板の白布のテープを引いて除幕、「水仙ロード」の命名開通を喜び、祝い合った。写真。
「富士ソフト水仙ロード」は、漆窪集落と県道上郷下野尻線が走る小清水集落を結ぶ約650m区間。昨年、

◆富士ソフトの皆さんと水仙の球根を植える◆

11月3日(木)、2年前より富士ソフト(株)さん8名の応援を戴き、町道漆窪～小清水間の路肩に水仙の球根を植え始め、昨年ではほぼ完了しましたが、まだ若干の区間が残っていたため、その区間に球根を植え今回で完成いたしました。

また、集会所前の愛宕山(仮称：小清水の花見山)にも球根を植えました。この日、雨のなか地区住民と一緒に作業をして戴いた富士ソフトの皆さん、ありがとうございました。

数年後の桜の花見より先に、集会所からきれいに咲く水仙の花が見られることと思います。



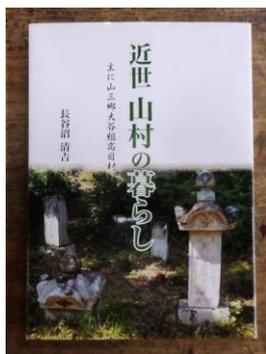
11/3 町道路肩と愛宕山に植栽



11/2 除幕式後の懇親会

◆長谷沼清吉さんが本を出版◆

会長の長谷沼清吉さんが、「近世 山村の暮らし 主に山三郷大谷組高目村」という本を発刊されました。B5判で200ページにおよぶ立派な本で、高目村の歴史、営み、寺社仏閣などが詳しく記されています。



清吉さんは前書きの中で、『子供の頃から歴史に興味があり、(中略)われらの祖先がどのような生活をしてきたのか、その生活の中から今学ぶべきことがあるのではないかと、何よりも今書かなければ失われてしまうものがあるのではないかと思い、書き進めてきた』と述べておられます。

大字富士地区の各家庭に1冊ずつご恵贈いただきました。

私たちが本のページをめくりながら、富士地区の昔の暮らしに思いをはせてみたいと思います。

漆窪自治区の収穫祭

漆窪自治区の収穫祭は、自治区長(山口隆司)宅において、「近世山村の暮らし」を自費出版し各戸に頂いたということで、長谷沼清吉さんを来賓にお迎えし、新嘗祭に合わせ11月23日(水)に行われました。午前中、男性は道路の側溝上げや清掃を行い、女性は賄いの準備です。

11時40分に橋谷田敬三さんの乾杯で収穫祭が始まりました。腕を振るった料理や肉鍋等が並べられ、今年の農作業の苦労話やいろいろな話題に花を咲かせながらご馳走になりました。

今年のメインは何といっても、会澤さんの孫である高校生の『高畠ななこさん手打ちの新そば』です。大変美味しくいただきました。

昨年も天候は不順でしたが、水稻の作柄はよかったようです。秋の収穫を祝い楽しんだ一日でした。



◆民生委員 長谷沼則夫さんから会澤真さんにバトンタッチ◆

富士地区の民生委員を2期6年務められた長谷沼則夫さんが退任されました。年々高齢化が進むにつれ、富士地区の一人暮らしが45世帯のうち11世帯になるなか、親身になって活動をしてこられました。本当にご苦労様でした。そのご労苦に対し厚生労働大臣から感謝状が贈られました。ご後任として会澤真さんが就任されました。宜しくお願いいたします。

小清水自治区 『歳之神』の実施

恒例である当地区の『歳之神』は、今年は1月15日が日曜に当たったため、小正月の行事として実施出来ました。

1月12日まで降雪が少なく実施が心配されましたが、13日から大雪に見舞われて十分な雪の量の中、午後3時ころから地区住民の手馴れた作業で準備が完了し、雪の降る中夕方5時半点火をし、五穀豊穡・無病息災を祈願しました。

終了後は集会所にて、もち・そばをみんなでいただき、楽しく行事を終えました。



漆窪自治区 歳之神・春会

1月15日午後3時。3日間降り続いた1mほどの新雪を踏みつつ、『昔は渦巻に踏み固め、陣取りゲームをして遊んだっけ！雪しかなかったからなぁ』と少年時代を思い出しながら会場準備。少人数ながら段取り良く2体の歳之神が完成しました。午後6時30分点火。火が付きにくかったものの、一気に燃え上がり、そばに居られないほどの火の勢いでした。星が見えたり雪が舞ったりするなか、お神酒を頂き、モチやすめるめを焼いて五穀豊穡、無病息災を祈りました。



爺と婆の歳ノ神 完成

良く燃えたので、今年は日照りかも？ 漆窪独特、男性陣の胴突き

また、1月22日には漆窪区長宅で春会が開かれ、事業報告や役員改選、他の集落ではもう行われなくなった作建てを決めました。その後、新年会に移り、集落内の親睦を深めました。3月には伊勢講での高野山参りを計画しています。



新潟市の飯田恵一様より心温まるお手紙をいただきましたので
ご紹介します。

秋も深まり、雪の季節も間近となりました。ご清祥のことと思います。

先日は「ふるさとだより」11号をお送り下さり、ありがとうございました。

お送りくださったのは、小生が10月22日に西会津の富士山に登る際、登山届の箱に住所等のメモをおいたためと推察
しています。重ねてお礼申し上げます。

今回、富士山にトライしようと思ったのは、国土地理院の二万五千分の一の地図を見ていたからです。ずい分前のこと
になります。その地図には登山道が途中で切れているし、果して登れるのか疑問に思っていました。今回、妻と息子が
同行してくれるというので実行に及んだ次第です。

意外にも登山口への道標もすばらしく整備されて、山頂にも飯豊、磐梯山、御神楽岳を示す立派な看板もあり感激し
ました。地元の皆さんの並々ならぬ富士山に対する愛着が感じられました。登山道の整備には大変なご苦勞があったこ
とであろうと推察されます。

私も年齢が80に近くなり、若いときに毎年行っていた飯豊などは遠い存在になりつつあります。今回の富士山は、まだ
まだ山を楽しめることを教えてくれました。

いただいた封筒や「ふるさとだより」に用いられている富士山のロゴも、特徴をよく表していますね。すばらしいです。

私の富士山登頂については、こちらの「エフエム新発田」にメッセージを送っておいたところ、10月27日にアナウンサー
が紹介してくれました。今後とも登山道の整備など高齢化が進んで困難もありましようが、よろしく願います。

わずかですが、同封のものを「ふるさとだより」の発行や、登山道の刈り払い等に役立てて下さい。

寒さに向う折、どうかご健勝でお過ごし下さい。

追伸

畑仕事をしていたおばあさんに聞いた所、ここの「ふじさん」は「ウ冠」の「ふじさん」ではなく「ワ冠」の「ふじさん」だと教
えてくれました。面白いですね。

ありがとうございました

小清水出身の貝沼義雄様、清トミ
子様、渡邊光子様、新潟市の飯田
恵一様、金子夏子様よりふるさと
応援金をお寄せいただきました。
事業活動に役立たせていただき
ます。

お悔やみ

■11月14日に貝沼清さんをご逝去され
ました(77歳)

■11月27日に長谷沼勇吉さんの母
カツ子さんがご逝去されました(85歳)

お二人のご冥福をお祈り申し上げます

小清水・漆窪集落の予定

2/18 駒沢女子大学と
ジョセササイズ

2/19 〃 納豆づくり

2/26 富士山スノー

トレッキング

3/下旬 小清水自治区総会

編集後記

雪の少ない前年の冬。今回の冬は雪の日が続いています。報道では全国各地で雪の影響のニュースが
多いですが、このくらいの雪は普通かなと思います。

長い冬の後には必ず暖かい春が訪れ水仙や桜の花を見せてくれるはずです。皆様にはいろいろな
ご支援をいただいたことに感謝・感謝です。

皆様よりのご意見等をお寄せください。お待ちしております。(貝沼)